

理念・構想

山梨大学の教員養成に対する理念・構想

「広い知識と深い専門性」に裏付けられ、さらに教師としての実践的力量、すなわち実践的教育力を地域（山梨県）の教育事情と現場体験に即して手厚く育成することが、本学の教員養成に対する理念である。それは、「地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する」という本学の理念・目標の一環として、まさに社会に実際に貢献する教育分野における有為の人材を送り出すものである。

工学専攻の教員養成に対する理念・構想

狭い専門分野の深化した専門知識だけでなく、境界領域の工学他分野の技術開発動向にも一定の見識を有し、また工学全般を俯瞰できる能力を兼備した高度専門職業人の育成を目指している。さらに各種発表技法を駆使したコミュニケーション能力、ならびに異文化や多様性にも適切な配慮ができる国際的感覚を身に付けることも要求している。これらの各種能力ならびに感覚を身につけた修士課程修了者は、各種工業製品の技術産業分野において第一線で活躍できる技術者・研究者として期待できるだけでなく、工学系の人材教育や育成にも十分に貢献可能と思われる。

地域貢献として工学系技術者の教育・育成に携わる教員の養成が必須であることから、高度専門職業人が備えるべき倫理や基礎的なコミュニケーション技術、工学系技術者に求められる基礎的素養（解析力や分析力など）、高度な専門知識および専門応用能力、幅広い工学系の見識と俯瞰的なものの見方、国際的な視野を有する教員を養成する。